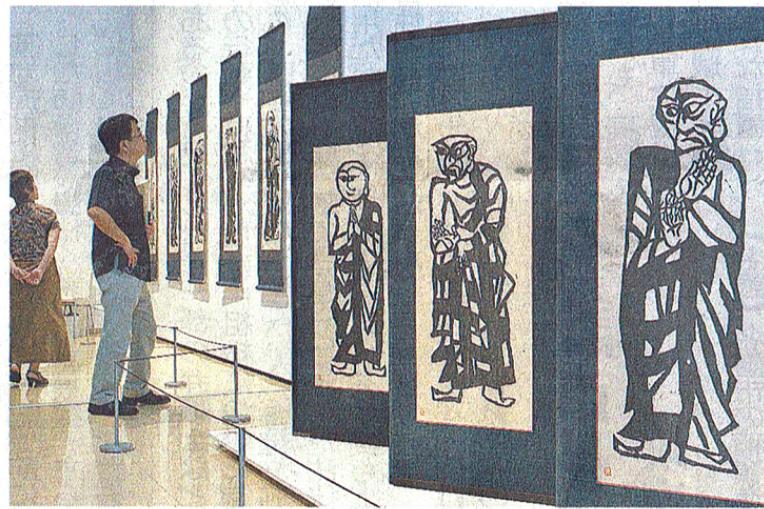


2016.9.14

名品と現代美 一堂に

棟方志功の作品に見入る来場者
13日、県立博物館・美術館



国展始まる 県博

国展工芸沖縄展

た「90回記念国展工芸沖縄展—黎明から現代 匠の系譜」(主催・国画会工芸部、沖縄タイムス社)が13日、那覇市の県立博物館・美術

館で始まった。10月2日まで。(30・31面に関連)

近代日本の工芸界で活躍した濱田庄司、芹沢銈介など国画会草創期の作家の名品68点を特別展示。現在の会員、準会員の作品139点も並び、初日は県内の工芸関係者らが詰め掛けた。

国画会工芸部の松崎融鑑査官長は、草創期の作家らが沖縄の伝統工芸に刺激を受け、親交を深めた経緯を説明。「今回の展示は沖縄の工芸に携わる人に必ず良い影響を与えるし、僕らも何かを感じて帰れると思う」と意義を強調した。入場料は一般1,200円、小中高500円、未就学児無料。問い合わせは沖縄タイムス社文化事業局、電話098(860)35588。